

# ひょうごの福祉

認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

P2 特集

「ストップ・ザ・無縁社会」絆つなげる  
明日へつながる⑬

人材も組織も育つ  
福祉の「職場研修」とは

12

No.754

12月3～9日は  
「障害者週間」  
だよ!



P6 「ストップ・ザ・無縁社会」広がれ! 全県キャンペーン

P7 みんなでつくるひょうごの福祉

現地に行った僕たちだからこそできる活動がある!  
～ワカモノチカラプロジェクト～

P8 あなたのまちの社協ナビ

淡路市社会福祉協議会

P9 地域を賑げる! ワーカー物語

西宮市社会福祉協議会 柳井 淑江さん

P10 ひょうごの福祉NOW

P11 みんなの広場

P12 インフォメーション



# 「ストップ・ザ・無縁社会」 絆つなげる 明日へつながる<sup>⑬</sup> 人材も組織も育つ 福祉の「職場研修」とは

「無縁社会」と呼ばれる中、福祉サービス等の支援を必要とする人たちが、住み慣れた地域でその人らしい暮らしを続けていくためには、担い手となる福祉専門職が、質の高いサービスを提供していくことが重要である。このためには福祉専門職自身が仕事に誇りと希望を持ち、やりがいを見出せる職場環境を整えることが不可欠となる。そこで、今回の特集では、福祉専門職の資質向上や職場組織の活性化を図るための「職場研修」をテーマに、その目的や効果的な進め方などを紹介する。



## 職員定着を巡る現状

介護労働安定センターが実施した意識調査によると、福祉職場に就職した人の職業選択理由については、「働きがいのある仕事だと思つたから(54.9%)」が最も多く、「今後もニーズが高まる仕事だから

■図表1 早期離職防止や定着促進のための方策(各事業所における実態調査)

方策	割合
①労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いている	62.5%
②職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	62.3%
③賃金・労働時間等の労働条件(休暇をとりやすくすることも含む)を改善している	57.5%
④非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	47.5%
⑤能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	43.1%
⑥能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映している	41.2%
⑦業務改善や効率化等による働きやすい職場づくりに力を入れている	40.5%
⑧経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	39.0%

出典: (公財)介護労働安定センター「平成24年度 介護労働実態調査結果」

(38.4%)「人や社会の役に立ちたいから(34.6%)」が上位にあがっており、福祉従事者の高い職業意識を見てとることができる。一方で、その離職率は17.0%と産業全体の14.8%よりも高く、また離職者の74.1%が3年未満という短期間に離職しているのが現状である。

このように多くの福祉専門職が働きがいを求めて就職しているにもかかわらず、定着しにくいという現状を打開するため、すでに各事業所では、さまざまな早期離職防止および定着促進の方策が試みられている。図表1を見ると、労働時間や賃金等の労働条件の改善や、職場内のコミュニケーションの円滑化といった働きやすい職場づくりによって、定着率を向上させようと苦慮していることがうかがえる。

一方、職員側の意識としては、仕事を続けていく上で重要な要素として、自身の能力向上を図るための取り組みや魅力ある職場づくりを求める声が多い(図表2参照)。

これらの状況を踏まえると、福祉現場においては、働きやすく、働きがいのある職場づくりや能力向上

職場研修に実際に取り組みの際の手順は、以下の通りである。

- ① 研修担当者の役割を明確にし、職場ぐるみで取り組む**  
職場研修を進めるにあたっては、まず研修計画の立案や研修の運営、評価等の実務を担う研修担当者を選任し、権限や役割を明確にすることが必要である。その上で、経営者は職場研修の理念・方針の提示や仕組みづくりを、管理者・指導的職員は研修に取り組みやすい雰囲気づくりを担うなど、職場全体で取り組むことが大切である。
  - ② 求められる職員像を明確にする**  
各職場の経営理念に基づき、どのような職員の育成を目指すのか、各職場において求められる職員像を具体的に描いていく。職員像は、職種や階層ごとに、具体的な実践行動のレベルで表現することがポイントである。
  - ③ 職場研修の現状を評価し、課題を抽出する**  
過去の研修実績を評価し、人材育成における課題を明確にする。当面の課題だけでなく中長期的視点
  - ④ 研修計画を策定する**  
「求められる職員像」と「職員の現有能力」との比較・検討や、職場研修の現状評価によって導き出した研修ニーズを踏まえ、3形態(OJT・OFF-JT・SDS)ごとに研修を組み立て、研修計画としてまとめる。
  - ⑤ PDCAサイクルに基づいて職場研修を実践する**  
計画に基づき職場研修を実践するにあたっては、研修目標を明確にし、計画立案—研修実施—評価—改善のPDCAを意識して取り組むことがポイントである。特に、実施後にアンケート等を活用して評価し、次回に向けて改善を図ることが大切である。
- これらを効果的に進めるためには、職員が主体的に取り組めるよう、以上の過程にできる限りすべての職員が参画できる機会を設けること、研修計画や研修の重点テーマを職員に周知するなどの配慮を行うことも大切となる。

■図表2 働く上での悩み、不安、不満の解消に「役立つと思う」取り組み(介護職員の意識調査)

方策	割合
①介護能力の向上に向けた研修	41.0%
②定期的な健康診断の実施	39.2%
③事故やトラブルへの対応、マニュアル作成等の体制づくり	35.9%
④働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	35.4%
⑤勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	35.4%
⑥実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	34.3%
⑦介護に関する事例検討会の開催	34.3%
⑧キャリア・アップの仕組みの整備	33.1%
⑨採用時における賃金・勤務時間の説明	29.3%
⑩介護能力に見合った仕事への配置	28.2%

出典: (公財)介護労働安定センター「平成24年度 介護労働実態調査結果」

の参加や職場内での学習会などがイメージされるが、例えば業務の打ち合わせやミーティングでの指導・助言など、職場内外で行われる職員への働きかけなどを広く研修として捉えることができる。つまり職場研修とは、職員育成のための活動の全体を指すといえる。

この職場研修には、大きく分けて三つの形態がある(図表3参照)。それぞれの特徴を理解したうえで、うまく組み合わせながら実施することが大切だ。中でも、日々の業務を通じて職員の意欲を引き出し、実務能力を高めるOJTは極めて重要であり、意図的・計画的に取り組むことが求められる。

職場研修とはどのようなものだろうか。一般的には外部研修へ  
では、職場研修とはどのようなものだろうか。一般的には外部研修へ  
職場研修の重要性への認識が高まっている。

## 職場研修の形態と進め方

■図表3 職場研修の3つの形態

- OJT (職務を通じての研修)**
  - 職場の上司(先輩)が職務を通じて、または職務と関連させながら、部下(後輩)を指導・育成する研修
  - 職員のレベルに応じた実践的な指導が可能
- OFF-JT (職務を離れての研修)**
  - 職務命令により、一定期間日常職務を離れて行う研修(職場内の集合研修、職場外研修への派遣)
  - 視野の拡大や専門知識の習得に適した形態
- SDS (自己啓発援助制度)**
  - 職員の職場内外での自己啓発活動を認知し、経済的・時間的な援助や施設の提供などを行うこと
  - 職員の自己成長と育成的な職場風土づくりに役立つ



研修所の職場研修支援の取り組み

各職場での職場研修の必要性やその実践手法を普及するため、社会福祉研修所ではさまざまな取り組みを行っている。

①これまでの支援

各職場の研修担当者を対象に、職員育成のポイントや集合研修の手法を学ぶ「職場内研修担当者研修」を実施しているほか、新任職員のOJTを担うリーダー等が職場の課題に応じたOJT実施計画づくりを通じてその進め方を学ぶ「新任職員OJT担当者研修」を開催している。

また、職場研修の意義や手順を事例とともに解説した『職場研修



職場研修の各種手引書  
(研修所のホームページからダウンロード可能)

の手引き(基礎編 実践編)や、新任職員のOJTの進め方や評価のポイント等を解説した『OJT担当者のための新任職員育成ハンドブック』などの手引書を発行している。その他、電話による職場内研修の講師紹介等の相談についても随時対応している。

②職場研修のさらなる普及に向けた支援

これらに加え、平成25年度からは、各職場の個別事情を勘案した支援を行うため、専任のアドバイザーを配置し直接職場を訪問すること、きめ細かな支援を行っており、関係者からの期待の声も大きい。

福祉経営者からの意見

社会福祉法人みかり会

理事長 谷村 誠さん(県社会福祉法人経営者協議会副会長)

社会福祉法人にとっては、地域で使命を果たしていき人財づくりと、その人財をつくる



職員の資質向上と魅力ある職場づくりに向けて

最後に、これまで研修所が職場研修の訪問支援を行う中で、よく相談のある三つの「悩み」を紹介し、それぞれの対処法をアドバイスする。

職場研修 Q&A

Q 新任職員の育成ではどんなことに着目し、どう取り組めばいいでしょうか?

A 新任職員育成はすべての出発点です。どんな職員になってほしいのか、専門的な知識や技術だけでなく、利用者サービスに関わる価値観(基本的態度や姿勢)を職場全体で一致させ、きちんと伝えることが大切です。価値観は、職員の資質やサービスの質の礎となる能力の一つです。また、新任職員が悩んだときに相談できる人を決めておく、新任職員の不安や孤立感を減らすことができます。さらに、実際の仕事を教えるときは、手順だけでなく、その意味や目的を教えることで、自らの役割を考へながら仕事のできる職員を育てることを目指しましょう。

組織づくりが大切です。そのためには、体系的な職場研修プログラムの構築が必須で、それは職員の定着率向上にもつながります。企業は、これに多くのコストと労力を費やしますが、福祉施設などを対象に、無料でそのお手伝いをいただけるのが社会福祉研修所の「職場研修アドバイザー」事業です。常に「時間がない」といわれる社会福祉施設の職場にとって、職務を離れての研修(OFF-JT)が困難とされる中、職務を通じての研修(OJT)の実践も含み、職場研修体系の確立と、それに基づいた個別研修計画及び実施までの仕組みづくりを支援いただけれます。他府県にはない価値ある事業です。多くの法人にご利用いただけることを期待しています。

以下では、職場研修に取り組む際の参考として、訪問支援による成果事例を紹介するとともに、支援を行う中で研修担当者から寄せられている悩みとその対処法を紹介する。

Q 職場研修を効果的に進めるにはどうすればいいですか?

A PDCAサイクルになっていますか。集合研修の企画では、研修のねらいと目標を明らかにし、実施後の評価(振り返り)・改善がポイントです。また、狙いや目的に合致した研修技法(グループワークやロールプレイ、事例検討など)の工夫も大切です。

Q すでに職場研修をしています。もっと充実させるにはどんな工夫をしたらいいですか?

A 「職場研修」=「OFF-JT(集合研修)」になっていませんか。職場研修の3形態、特にOJTを意識して組み合わせてやってみましょう。講義を聞くだけの受け身の研修ではなく、例えば、職員自身が講師や進行役を務めるなど、主体的に役割を担うのも育成の機会(OJT)であり、外部研修の報告会も学び直しの機会(OJT)となります。

福祉サービスは、人を相手として、人の手によって行われる対人援助サービスであり、職員一人一人の資質能力の向上は、そのままサービスの質に直結する。こうした

事例 障害福祉サービス事業所 清流園(尼崎市)

約20人の職員を抱える清流園では、毎月、指導的職員等による講義形式での集合研修を実施しているが、「研修効果が現場で反映されにくい」「受講する職員が受け身になりがち」といった課題があり、職場研修担当者は、参加型の研修を実施し、職員の主体性を向上したいという思いがあった。また、清流園では、個別支援向上のプロジェクトに取り組んでおり、研修と業務の連動性が求められていた。

こうした状況を受けて、研修所では、清流園の職員自身が園の強みを再認識し、主体的に仕事に取り組めるきっかけとなるようなグループワーク方式での研修を提案した。企画や運営は職場研修担当者らが担いつつ、「職場の強みにつながる日頃の良い取り組みとは」をテーマに研修を実施し、課題の解決方を皆で考えることで、職員一人一人の行動につなげることを目指した。

その結果、職員からは「利用者を個別化し、その人の能力を引き出すこ

観点から、今回の特集では、福祉専門職一人一人の資質向上に向けた取り組みと、その職員を支える魅力ある職場づくりの重要性を述べた上で、その具体策としての職場研修の効果的な進め方などを紹介した。各職場においては、改めてその重要性について認識し、「職場研修アドバイザー事業」をはじめとする各種支援事業を活用しながら、積極的に職場研修に取り組んでいただきたい。

「福祉の『職場研修』Q&A集 ~職員がイキイキ育つ~(仮称)」を発行します!

今回紹介した「職場研修」に関して、職場研修を進める上での各職場の悩みを基に、効果的な進め方や対応のポイントなどを紹介した冊子を平成25年度末頃に発行し、県内の福祉施設などに配布する予定です。

職場訪問支援の事例紹介

社会福祉研修所のホームページでは、職場研修アドバイザーによる支援事例を紹介しています。ぜひ、ご覧ください!

URL <http://www.hyogo-f-kensyu.jp/syokuba/>

東日本大震災が発生してから、多くの人たちが東北に行きボランティアとして活動しているね。今回は、NPO法人生涯学習サポート兵庫の活動から始めて、現在は自立した組織として成長しつつある「ワカモノデカラプロジェクト」の取り組みを紹介するよ。



## みんなでつくる ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする取り組みを紹介します。

### ワカモノの 元気を届けよう！

「ワカモノデカラプロジェクト」は、3月11日の震災をきっかけに、「ワカモノのチカラを届けよう」と始まった。当初は夏休みの大学生を東北へ送る支援バスの名称だったが、戻ってきた学生達がその後に行ってきたことを話し合い、現在ではその学生自らが運営スタッフとなって「関西から何かをしよう」という思いを形にする組織として、さまざまな独創的な活動を展開している。

被災者生活支援活動「あんだんでは、自分達の持っている本や洋服などを売り、その代金を東北に届ける活動として始まった。現在では、東北の人々が作ったミサンガやストラップなどの手芸品を販売している。避難家庭支援活動「サンデーロボット」は、兵庫県に避難している



避難している子どもたちの笑顔をつくる

## 現地に行った僕たちだからこそできる活動がある！

～ワカモノデカラプロジェクト～



自らの思いを形にする「ワカモノ」たち

母子世帯の方々など対象に、子どもたちと学生が一緒に遊ぶという活動だ。このほかも、東北で自分たちが見たものを発信する活動「ツタリベ」や、学生による支援団体のネットワーク化を目指して開催する「学生未来フォーラム」など、それぞれの活動に学生スタッフが責任を持って取り組んでいる。

### 活動で得たものを 将来に生かす

関西の各地からさまざまな学生が集まって活動している同プロジェクトについて、活動の母体となったNPO法人生涯学習サポート兵庫の菅野将志さんは次のように語る。「ここでは災害支援のノウハウに限らず、組織運営や企画力など多くものを身に付けることができる。これらを生かして社会に貢献できるワカモノを育てていきたい」。多

### 取材を終えて

東日本大震災の支援から始まった取り組みですが、これまでも、これからも、学生たちと共にどんどん成長している活動だと感じました。今後どう変わっていくのか、とても楽しみです。

ワカモノデカラプロジェクト  
姫路市飾磨区英賀西町2-15-2  
NPO法人生涯学習サポート兵庫内  
☎079-230-0661  
<http://gakuseimirai.jimdo.com>



## TOPICS

### 「ふれあいの祭典 阪神南ふれあいフェスティバル」に出展を行いました！

全県キャンペーン推進協議会では、ひょうごボランティアプラザと共同して、「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの広報と、東日本大震災の被災地支援活動の報告を目的に、11月2日、3日の2日間、尼崎市の尼崎スポーツの森で開催された「ふれあいの祭典 阪神南ふれあいフェスティバル」に専用ブースの出展を行いました。



多くの来場者でにぎわう会場



出展ブースでは、パネル展示やビデオ上映などの広報活動を行うとともに、「ふれあいの祭典」の雰囲気に合わせて、家族連れや小さなお子さん向けに、クイズやぬり絵のコーナーを設けたり、風船や懐かしい玩具を配ったりと、初めての取り組みも行いました。

子どもたちの塗り絵が飾られたブースでは、にぎやかな笑い声が絶えず、とても楽しい2日間となりました。

### 県内各地で「地域フォーラム」が開催されています！

キャンペーンでは、全県的な啓発活動を盛り上げていくため、市町域・ブロック域での「地域フォーラム」の開催を支援する助成事業を実施しており、平成25年度は右記の地域フォーラムが実施されています。

このほかにも、キャンペーンの趣旨に合致する事業がありましたら、本ページで広報いたしますので、ぜひお知らせください！



篠山市協会の「社協Day」(9月1日)の様子

### 平成25年度に実施予定の地域フォーラム

宍粟市社協	やすらぎ福祉フェスタ	8月25日
篠山市社協	社協Day「地域福祉力パワーアップ研修会、社協活動紹介」	9月1日
丹波市社協	ボランティア・市民活動フォーラムたんば「深めよう!地域のきずな」	10月12日
高砂市社協	みんなの社協フェア	11月3日
伊丹市社協	地域見守りフォーラム	11月21日
養父市社協	養父市社協のつどい	11月23日
三田市社協	三田市社会福祉大会	1月25日
南あわじ市社協	南あわじ市ボランティアのつどい	1月25日
佐用町社協	佐用町地域福祉研修会	2月9日
淡路市社協	第2回 町内・集落福祉全国サミット IN 淡路	2月15・16日
尼崎市社協	尼崎見守りサミット	2月16日
川西市社協	地域福祉・権利擁護市民のつどい(仮称)	3月4日
芦屋市社協	ストップ・ザ・無縁社会 地域フォーラム～地域での見まもり・つながり・たすけあい～	3月6日

※各フォーラムの詳細は、実施する市町社協までおたずねください。

このコーナーでは、県内の社協職員など“地域福祉を進める人々”の活動を取り上げながら、ワーカーとしての想いを伝えます。

「認知症介護者の会さくら会」の立ち上げに関わり、それから約10年間、会の運営に携わり今でも心の中心に残っている場面があります。初めて参加された方が不安そうに会場に来られ、話をし始めると、涙が止まらなくなりました。その間、別の

印象に残るエピソードは？

「認知症介護者の会さくら会」の立ち上げに関わり、それから約10年間、会の運営に携わり今でも心の中心に残っている場面があります。初めて参加された方が不安そうに会場に来られ、話をし始めると、涙が止まらなくなりました。その間、別の

あなたの原点は？

大学卒業後一般企業に勤めたのですが、企業の体質に合わず、退職。その後、阪神・淡路大震災が発生した平成7年10月に西宮市社協に入局しました。社協のことをよく知らないままに就職しましたが、仮設住宅での住民活動や、担当した「認知症相談室」で介護者の悩みなどに触れることで、暮らしを支える、豊かにする「地域」の大切さや「人のつながり」を実感し、その一翼を担える仕事にしたいと思いました。

地域を駆ける！  
ワーカー物語

みんなが笑顔で  
ほっとできるまちを目指して

参加者がずっと待ち、「私もそうだったのよ」と声をかけると、その方の表情がすっと和らぐことができました。その人の折れた心に手を差し伸べたのは、サービスや制度ではなく、まさに同じ経験をした仲間なのだと思ってきました。そして後に、介護する家族を支える場の必要性から立ち上がったNPO法人「つどい場さくらちゃん」の開設にも関わりました。そこには、色んな人が混じり合い、しゃべり合い、支援する側もされる側もなく人と人がつながる「まじくる」の関係があります。この「つどい場」が、自宅や空き家を利用するなどさまざまな形で市内に広がっています。



平成25年度には、「つどい場」が会するフォーラムを初めて開催

一言でいうと、「人と人とのつながり」をつくる活動です。いかに人と人をつなげ、地域の中でネットワークをつくっていけるかがカギです。地域に住み、地域をつくり、地域の力を高めるのは、私たち職員ではなく、地域住民の一人一人です。住民の方々の活動を支え、力になることで、皆さんが安心して、楽しめる地域になっていけるような活動をしていきたいと思っています。

力を入れたい活動は？

この二つの住民の声から始まった活動に関わった経験は、私自身の原動力になっています。まちのあちこちに、住民同士の横のつながりができて、時には弱音も吐けるような、その人の居場所がいっぱい増えていけばいいと思っています。

一人一人の思いを大切にすること。そして地域で活動をする人も、そこに集う人も、みんなが「ほっと」できたり、「楽しい」と思える空間づくりを大切にしています。

取材を終えて

「つながりづくり」はすべての原点、と話す柳井さん。住民一人一人の声を大切に、笑顔あふれる地域を目指し、専門職としての意気込みを感じました。

西宮市社会福祉協議会  
柳井 淑絵さん

Personal History

- 22歳 西宮市社協入局 地域福祉課所属
- 38歳 西宮市との人事交流研修により、1年間市役所 高齢福祉課に所属
- 39歳 地域福祉課地区担当として5分区(おおむね5小学校区エリア)の地域支援に携わる



大切にしていることは？

一人一人の思いを大切にすること。

## あなたのまちの社協ナビ

市町社協の取り組んでいるさまざまな活動をご紹介します。

活動を  
もっと詳しく  
知りたい方は

淡路市社会福祉協議会  
☎0799-62-5214

淡路市社協 検索



## 「地域に開かれた場」で 障害者の就労をサポート

淡路市社協では、平成17年度の合併以前から、各地で当事者の声を大切にした障害者への支援を盛んに進めてきた。現在では、当事者の組織化を基礎としながら、ケアホーム、共同作業所、就労移行支援事業所、相談支援事業所の運営を行っているが、どの活動場面でも当事者を中心に据え、地域住民とのつながりを大切にした取り組みを展開している。

### 活動の中で

市社協では、各地の作業所で活動する当事者の「働きたい」という声に後押しされ、障害者の就労支援事業所である「さめきうどん幸来」を平成23年度にオープンした。店内に入ると、障害を持つメンバーの元気な声がお客さんを出迎える。うどんは本格派で、お昼時に行列ができることもしばしば。調理・接客とメンバーが懸命に働く姿は、地域から集まる人々に暖かく見守られ、開店から2年、

地域からのお客さんでにぎわう店内



その存在は地域に広く知られるようになった。

幸来では、新メニューの開発や餅つきなどを近隣住民とともに行い、地域に開かれ、支持される店作りを目指してきた。時には営業時間外に店を開放し、障害者が集って食事を楽しむ「つながりサロン」も開かれる。障害者が経験を積み、仲間とつながる場である

地域の子どもが集まって「餅つき」



幸来は、地元住民に愛される、地域に欠かせない場所となっている。

さらに、作業所や幸来で経験を積んだメンバーの活躍の場は、これまで以上に地域に広がろうとしている。過疎化の進行で移動や買物に支障が出てきた集落で、メンバーが弁当の調理配達、移動販売などを担い、住民の生活を支援する活動を始める予定だ。「支援の受け手」として捉えられがちな障害者が、「働き手」として地域住民の生活を支える。そんな意欲的な取り組みに、今後注目が集まる。

「幸来」がラジオ番組で紹介されます!

ラジオ関西558KHZ (AMラジオ) ハートフルフィーリング  
12月16日(月)、12月23日(月) 15:07~15:20

### 活動のポイント 「地域に開かれた場」にこだわった支援が新たな展開を生み出す!

#### 取材を終えて

お昼時、地域からさまざまな年齢層の方が来店し、食事を楽しんでいました。この場が地域に自然に溶け込んで存在していることが分かります。そして、障害を持つメンバーの懸命に働く姿が、地域住民の意識に大きな影響を与えていることを改めて感じました。

#### 会長から

淡路市社会福祉協議会 会長 長江 良彰

現在、淡路市社協では、将来の地域の姿を見据え、第二次の地域福祉推進計画の策定を進めています。同時に、集落での見守り・支え合い活動など、住民主体の活動実践を淡路から発信し、全国の先進的な実践に学ぶ「第2回町内・集落福祉全国サミットin淡路」の開催準備を進めています。

市内各地の共同作業所や幸来においては、これまで地域とのつながりを大切にした活動を重ねてきましたが、今後も、地域の住民や生きづらさを抱えた当事者と協働しながら、本会の活動理念である「一人ひとりを大切にできるまちづくり」を目指した取り組みを進めます。





## みんなの広場

兵庫県社協の会員からの情報発信コーナーです



社会福祉協議会に固有の課題を協議

### 市町社協活動推進協議会

「市町社協活動推進協議会」は、県内の41市町社協で構成された県内の社協活動と地域福祉の推進を図るための協議の場として、平成17年度に設置されました。それ以前は、都市部の社協を中心に自主的な会議が開催されていましたが、社協を取り巻く環境変化に伴い、市町社協固有の課題について全県的に協議・研究する必要性から結成されたものです。

阪神・東播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路・神戸の7ブロックから幹事を選出し、市町社協の会長・理事長による総会や幹事会とともに、役員によるブロック活動も展開しており、現在では、社会福祉法人の新会計基準への移行に向けた職員研修会などが実施されています。

また、兵庫県の防災計画課が県内5ブロックで9～10月に開催した「災害時要援護者支援対策に関する連携会議」に、行政や福祉施設とともに社協職員も参加し、官民協働で情報交換を行いました。

今回は、但馬ブロックと阪神ブロックの取り組みについてご紹介します。



### 但馬ブロック

10月23日、朝来市で「全但社協連絡会役員研修会」が開催され、3市2町から70人を超える役員が集まり、社協を取り巻く情勢を共有し、方向性を協議しました。

県社協の地域福祉部長から「福祉の動向と先駆的な社協活動の狙いとするところ」をテーマにした基調提案があった後、「今後の社協活動は、こんな活動なら市民の皆さんから、より一層の理解と協力が得られる」をテーマにグループワークを実施。各グループではさまざまなアイデアが出されました。

全体を通じて、社協を取り巻く環境変化に伴い、組織改革や職員育成の仕組みづくりが必要なが共有されました。



### 阪神ブロック

9月2日、宝塚市で「阪神ブロック市町社協会長・理事長会議」が開催され、7市1町から25人が参加しました。主な協議題は、社協としての「生活困窮者自立支援法への対応」で、各市町での行政との協議・検討状況の報告が行われました。法案が成立していない中で、行政との協議・検討は、これからの課題となっています。

また阪神間では、権利擁護センターや地域見守りネットワークづくりの取り組みが先駆的に実施されており、その取り組みに関する意見交換や、災害ボランティアセンターの運営課題などについても活発な情報交換が行われました。

**連絡先** 市町社協活動推進協議会  
〒651-0062  
神戸市中央区坂口通2-1-1兵庫県福祉センター内  
兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部  
☎078-242-4634 FAX078-242-0297

アピールしたい活動の  
情報をお寄せください。

**問い合わせ先**  
兵庫県社協 総務企画部 ☎078-242-4633 FAX 078-242-4153 E-mail info@hyogo-wel.or.jp

## AUTUMN in HYOGO 福祉の就職説明会

福祉人材の確保や福祉分野での就労を、身近な地域で層進めていくため、本会では10月から11月にかけて、「福祉の就職説明会 AUTUMN in HYOGO」を県内3会場(明石・姫路・尼崎)で開催した。3会場合わせて135事業所が出展し、274人の求職者の参加があった(内訳:明石92人、姫路97人、尼崎85人)。



求職者と事業者の懸け橋に



福祉の仕事が未経験の方や中高年の方にも参加いただき、就職活動にとって大切な情報収集の場として活用いただいた。  
出展した事業所では、手作りの看板やパンフレット等を作成し、職場の雰囲気や仕事内容などの説明に工夫をするブースが多くみられた。求職者からは「マンツーマンで分かりやすく説明していただいた」「無資格でも、気軽に相談に乗っていただけ」などの声があった。

今後も、県内各地で巡回相談会や就職ガイダンス等を開催するほか、平成26年3月1日(土)に「第2回福祉の就職総合フェア in HYOGO」(神戸サンポーホール)の開催を予定している。

**就職説明会にご参加いただいた事業所の方へ**  
面談された方の採否結果を「面談相談カード」に記入のうえ、1月末日までに福祉人材センターへ返送をお願いします。

## 寄付・寄贈のお礼

このたび、以下の寄付・寄贈をいただきました。ここに改めてお礼を申し上げます。

### 兵庫県生命保険協会による寄贈

同協会より、幼児向け絵本123冊の寄贈の申し出があり、本会を通じて、県児童養護連絡協議会・県乳児院連盟に寄贈を行った。



### 神戸元町ミュージックウィーク

10月6日、神戸元町ミュージックウィーク実行委員会の主催により、風月堂ホールにてチャリティーコンサートが開催された。当日は東日本大震災被災地支援のための募金活動が行われ、8万



### 企業と創る新しい寄付のカタチ

兵庫県共同募金会および各市区町共同募金委員会では、「募金百貨店プロジェクト」の参加企業を募集しています。  
このプロジェクトは、企業等が実施する寄付つき商品・企画を「募金百貨店」になるというプロジェクトです。寄付金は、各市区町共同募金委員会を通じて、地域福祉課題解決の財源となります。企業にとっても社会貢献と販促につながる同プロジェクトにぜひご参加ください。



県内第1号として、(株)こんだぬくもりの郷(篠山市)と覚書の調印が行われました!

6,867円が本会を通じて気仙沼市社協へ寄付された当日の様子はホームページ <http://mmw.jp/> に掲載。

助成金情報

福祉活動等に対する助成金の情報です。詳細は、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

神戸市社会福祉協議会  
平成26年度児童福祉基金「生駒温子」  
児童福祉事業助成

「将来を担う子ども達の福祉増進のために活用してほしい」という故・生駒温子氏の遺言により、神戸市社会福祉協議会へ寄贈された浄財をもとに助成します。

対象 神戸市内の児童福祉施設、神戸市内を主な活動拠点とし、児童とその家族の福祉増進を目的として活動する団体

助成金額 1件上限50万円

締切り 平成25年12月27日(金) 必着

☎社会福祉法人神戸市社会福祉協議会  
福祉部 地域福祉課 TEL078-271-5317

URL <http://www.with-kobe.or.jp/>

近畿ろうきんNPOアワード

近畿労働金庫の事業と連携した仕組みとして、「子育て支援活動」を進めるNPO法人やボランティア団体に助成します。

対象 NPO法人、ボランティア団体などの非営利市民活動団体(任意団体を含む)、近畿2府4県に主たる事業所を置いている団体

助成金額 大賞50万円(1団体)、優秀賞30万円(2団体)、奨励賞20万円(5団体)、はぐくみ賞10万円(4団体)

締切り 平成26年1月31日(金) 必着

☎近畿労働金庫地域共生推進部  
TEL 06-6449-0842

URL [http://www.rokin.or.jp/npo/npo\\_award/](http://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/)

公益財団法人

コープともしびボランティア振興財団  
市民力を高めるボランティアコーディネーター実践のための調査研究助成

市民主体の地域づくりに資することを目的に、ボランティア論、ボランティアコーディネーター、地域福祉、非営利団体の運営およびマネジメント等にかかわる内容を関係機関で学び、地域実践に還元する社会人を支援します。

対象 ①兵庫県内在住または在勤、在学、あるいは県内で活動する社会人②地域での実践を目的として、ボランティアに関する内容を学び、活動に生かせること③助成交付時に該当の大学院、大学、専門学校、専門機関等に在籍もしくは合格していること④助成期間終了後、研修内容やその成果を地域での実践活動に生かせること

助成金額 年間上限30万円

締切り 平成26年1月31日(金) 必着

☎公益財団法人コープともしびボランティア振興財団 TEL078-412-3930

URL <http://www.tomoshibi-found.or.jp/>

募集

第23回コープこうべ虹の賞

市民活動の推進に大きく貢献した個人や団体、また今後の活動の発展が期待される個人や団体を表彰します。自薦・他薦を問いません。

応募資格 コープこうべの事業区域内で活動する、または活動拠点をおく個人・団体

賞 奨励賞と功労賞を合わせて上限15件

副賞 奨励賞と功労賞ともに個人5万円、団体10万円

締切り 平成26年1月31日(金) 消印有効

☎コープこうべ組合員活動部  
TEL078-856-1105

URL <http://www.kobe.coop.or.jp/>

研修・イベント

1.17ひょうごメモリアルウォーク2014  
参加者募集

震災時を思い起こしながら、防災意識を新たにするとともに、ゴールとなるHAT神戸・なぎさ公園で開催される「1.17のつどい」に参加しませんか(参加費無料)。

開催日 平成26年1月17日(金)

内容 一般ウォーク、帰宅訓練ウォーク、1.17のつどい、防災訓練など

申し込み締切 一般ウォーク平成26年1月10日(金)、帰宅訓練ウォーク平成25年12月17日(火)

☎兵庫県企画県民部防災企画局復興支援課  
TEL078-362-9984

フィリピン台風災害義援金  
募集のお知らせ

11月8日にフィリピンを通過した台風30号により、同国に甚大な被害が発生しています。兵庫県社協では、「平成25年フィリピン台風兵庫義援金募集委員会」に参画し、被災者支援のための義援金の募集を行っています。県民の皆様の温かい支援をお願いします。

募集期間 平成26年2月28日(金)まで

募集方法 下記口座への振り込みか、県の地方機関、市町庁舎等に設置された募金箱へ

郵便振替口座:00950-9-165274

名義:平成25年フィリピン台風兵庫県義援金募集委員会

☎兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課  
TEL078-341-7711(内線5386)

行事予定

12月 3日 第2回地域福祉推進部会◆県福祉センター

第2回市町村協活動推進協議会幹事会◆県福祉センター

経営協 法人経営トップセミナー◆ANAクラウンプラザホテル神戸

4日 民生委員児童委員 辞令交付式◆県公館

ひょうごボランティアプラザ運営協議会◆神戸クリスタルタワー

5日 第2回権利擁護部会◆県福祉センター

6日 第2回福祉事業推進部会◆県福祉センター

看護職員研修◆県社会福祉研修所

10日~ 介護支援専門員 実務従事者基礎研修◆県社会福祉研修所ほか

16日 第1回市民後見推進会議◆県福祉センター

17日 ホームヘルプ事業者協議会 サービス提供責任者研修(現任編)◆県福祉センター

17~18日 近畿ブロック災害ボランティアセンター運営者研修◆追手門学院大阪城スクエア

19日 ひょうごボランティア基金助成事業中間報告会◆神戸クリスタルタワー

20~24日 社会福祉援助基礎研修(Bコース)◆県社会福祉研修所

21日 介護福祉士受験セミナー 模擬試験・講義◆県社会福祉研修所

25日 児童福祉施設・保育所中堅職員研修◆県社会福祉研修所

26日 県社協第232回理事会・第178回評議員会◆県福祉センター

1月 11日 新年福祉のつどい◆ANAクラウンプラザホテル神戸

16~17日 相談面接技術研修(初級・Bコース)◆県社会福祉研修所

17日 経営協第228回理事会、1月例会◆県福祉センター

21日 栄養士・調理師研修◆県中央労働センター

21日~ 介護支援専門員 実務研修・更新研修B・再研修◆舞子ピラほか

23~24日 相談面接技術研修(中級・Bコース)◆関西学院大学

ひょうご出会いサポートセンター

神戸出会いサポートセンター(緑結びサロン) TEL(078)381-6820

阪神南出会いサポートセンター TEL(06)6481-7370

阪神北出会いサポートセンター TEL(079)26-7351

東播磨出会いサポートセンター TEL(078)920-9337

北播磨出会いサポートセンター TEL(079)38-8022

中播磨出会いサポートセンター TEL(079)240-7005

西播磨出会いサポートセンター TEL(079)158-1311

但馬出会いサポートセンター TEL(079)662-7701

丹波出会いサポートセンター TEL(079)78-9130

淡路出会いサポートセンター TEL(079)24-2717



1対1のお見合いを  
紹介します!  
お申し込みは  
最寄りのセンターまで

公益財団法人  
兵庫県青少年本部

サポートセンター本部 〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3  
TEL(078)891-7415 FAX(078)891-7418

兵庫県の地域福祉情報誌

ひょうごの福祉

新規購読者募集中!



●人も地域も元気に! 地域の夢とアイデアが詰まった“ご当地福祉”を紹介します!

毎月発行・年間購読料 1,500円(送料別)

「ひょうごの福祉」に掲載する広告も募集しています!!  
(発行部数18,000部)

申し込み・問い合わせ 兵庫県社協 総務企画部 TEL 078-242-4633